

## 定期報告（ウルグアイ内政・外交：2018年10月）

### 【内政】

#### 1 最新の世論調査結果

11日に発表された世論調査会社Opción社による次期大統領選挙に関する投票動向調査結果によると、政党支持率は国民党30%、与党拡大戦線（FA）25%、コロラド党11%、人々の党4%、独立党4%、決めていない25%となった。一方、12日に発表されたCifra社による同調査では、与党拡大戦線（FA）31%、国民党27%、コロラド党7%、人々の党3%、独立党3%、決めていない28%との結果になった。

#### 2 補正予算案及び退役軍人年金制度改革法案の可決

11日、今政権最後となる補正予算案が両院で可決し、教育関連及び社会政策分野への予算を中心に約157百万米ドル増の補正予算が承認された。同予算では、政界における汚職及び倫理問題等に関する調査を行う透明性倫理委員会（JUTEP）及び司法関連分野への予算増も組み込まれた。

24日、多額の赤字を補填するために財政負担が増している退役軍人年金の制度改革法案が1年以上に亘る審議の末に可決した。新制度の適用は勤続15年以下の士官からとなり、年金受給額の上限が引き下げられた他、最低勤続年数はこれまでの20年から下級士官は22年に、上級士官は25年に引き上げられた。

#### 3 ベルガラ中銀総裁の辞任

12日、ベルガラ中銀総裁は、翌年10月27日に実施される次期大統領選挙への出馬するため辞任し、後任にグラニャ同銀経済・市場政策局長（前同銀総裁）が就任した。憲法の規定により、中銀を含む独立行政機関の長等は公職選挙の1年前までに辞任することが義務づけられており、ベルガラ総裁は与党拡大戦線（FA）の大統領候補の1人として立候補を予定している。

#### 4 共和国大学学長の交替

18日、共和国大学の新学長に、ロドリゴ・アリム共和国大学経済学部長（46才）がマルカリアン前学長に替わり就任した。アリム新学長は、10日に行われた学長選挙で同大の官僚主義体質の改革及び大学機能の地方移転などを提唱して当選した（任期4年、再選可）。共和国大学はウルグアイの大卒者の8割を輩出する最高の高等教育機関であり社会的重要性及び影響力が強い。

### 【外交】

#### 1 ウルグアイ・ホンジュラス政策協議

2日、モンテビデオにおいて、ベルガミノ外務次官及びバラオナ・ホンジュラス外務次官同席のもと第2回二国間政策協議が開催された。双方は、両国の経済・貿易関係強化の必要性に同意し、また、メルコスールと中米統合機構（SIICA）の緊密化を促進する関心を確認した。更に、2019年第一四半期に、ホンジュラスにおいて、科学技術協力に関する第1回合同委員会を開催することに合意した。

## 2 在ベネズエラ・ウルグアイ臨時代理大使の任命

11日、ウルグアイ外務省は、レメディ前在クリチバ・ウルグアイ総領事を、在ベネズエラ・ウルグアイ臨時代理大使に任命した。当地ブスケダ誌は、在ベネズエラ・ウルグアイ大使館は2年以上大使不在の状態が続いており、多くのウルグアイ人が居住する同国に経験豊富なキャリア外交官を派遣しつつ、国際的な批判が高まるマドゥロ政権に対する好意的措置と理解されることを避けるため、大使ではなく臨時代理大使を派遣したと憶測される旨報じた。

## 3 ウルグアイの国連人権理事国への選出

12日、NYで行われた国連総会において、ウルグアイは、2019年－2020年任期の国連人権理事国に大多数の支持（187票中177票）を得て選出された。ウルグアイが同理事国を務めるのは3度目となり、これまで、同理事会創設（2006年）から2012年まで理事国を務め、2011年－2012年には議長国を務めた実績を持つ。ウルグアイは、理事国任期中、多国間主義、人権の普遍性及び相互依存、国際法尊重及び国家主権の原則の尊重を基本原則として、制度強化、全人権保護の基準の引き上げ及びそのための制度強化に貢献すべく、理事会作業に積極的に参加すると発表している。

## 4 中国外務次官のウルグアイ訪問

18日、ニン・ノボア外相は来訪中のQin Gang中国外務次官と会談し、双方は、ウルグアイにおいて外務次官級で実施されたメルコスール・中国対話の再開を歓迎するとともに、外交関係樹立30周年（2018年）を迎える両国の良好な関係を強調した。また、二国間貿易の拡大及び一帯一路構想の協力に関するMOU署名を評価した。

## 5 中国議員団の来訪

29日、バスケス大統領は、トポランスキー副大統領及びベルガミノ外相代行同席のもと、来訪中のHao Mingjin全国人民代表大会（全人代）常務委員会副委員長を団長とする5名の中国議員団の表敬を受けた。同日、同議員団は国会議事堂を訪問し、両院議長及び中国・ウルグアイ友好議連を含む多数の議員等と会議を行った。トポランスキー副大統領（兼上院議長）は、2025年に百周年を迎える国会議事堂の改修工事のための協力を中国に要請した。

## 6 ウルグアイ・ベトナム合同委員会の開催

23日、二国間外交関係樹立25周年を記念し、ベルガミノ外務次官及びウルグアイ来訪中のDo Thang Haiベトナム工業貿易次官出席のもと、貿易投資枠組協定に基づくウルグアイ・ベトナム経済協力・貿易・投資合同委員会が開催された。双方は、ウルグアイ産柑橘類及び牛肉、また、ベトナム産魚及び果実の相互市場アクセス改善が協議されるとともに、貿易及び税関手続き円滑化の必要性について触れられ、ウルグアイ側から税関相互支援協定案が手渡された。

【要人往来】

○往訪

- 1日, ケチチアン観光相の訪亜（ラ米国際観光博へ参加）
- 31日～11月10日, ニン・ノボア外相の訪中（企業ミッション）

○来訪

- 18日, Qin Gang 中国外務次官（メルコスール・中国対話出席）
- 29日, Davitashvili ジョージア環境農業大臣（農業分野の二国間MOU署名）

（了）